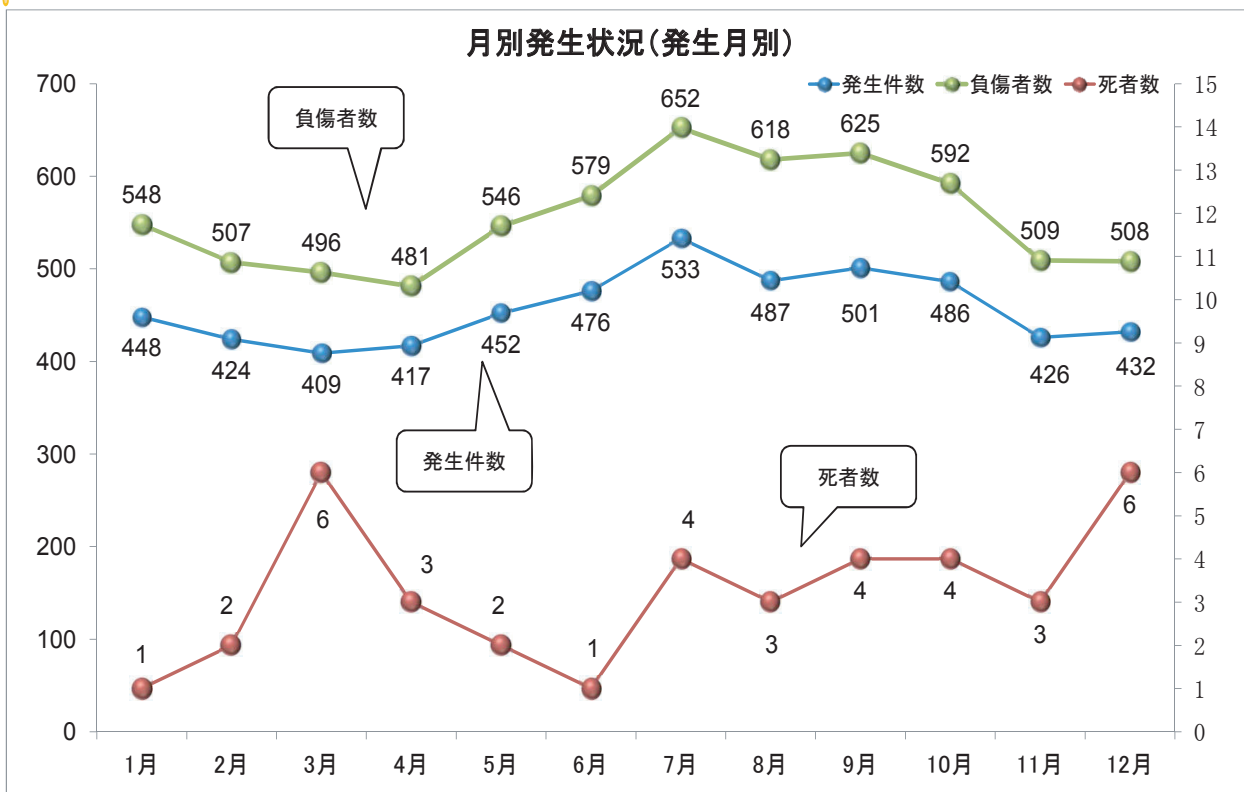


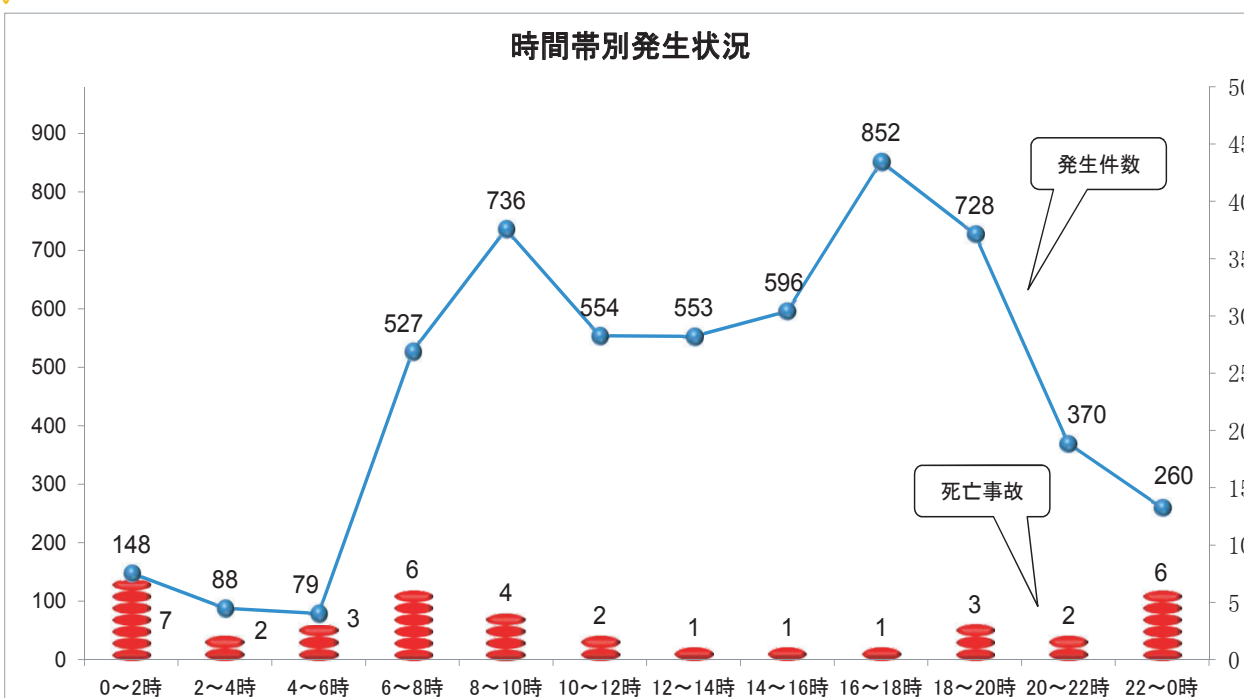
## 第2 平成28年中の交通事故発生状況

### 13 月別発生状況



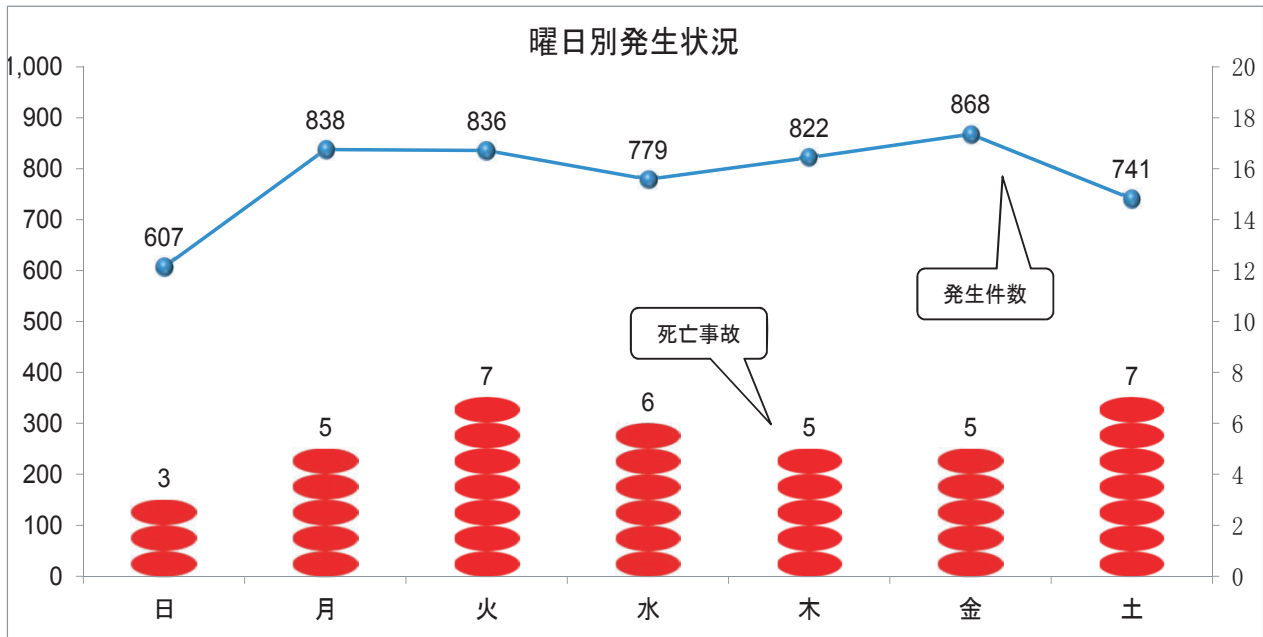
- 発生件数は、1ヶ月平均約458件で、7月(533件)が最も多く、3月(409件)が最も少なくなっています。
- 死者数は、3月と12月が6人で最も多く、次いで7月、9月、10月の4人となっています。

### 14 時間別発生状況



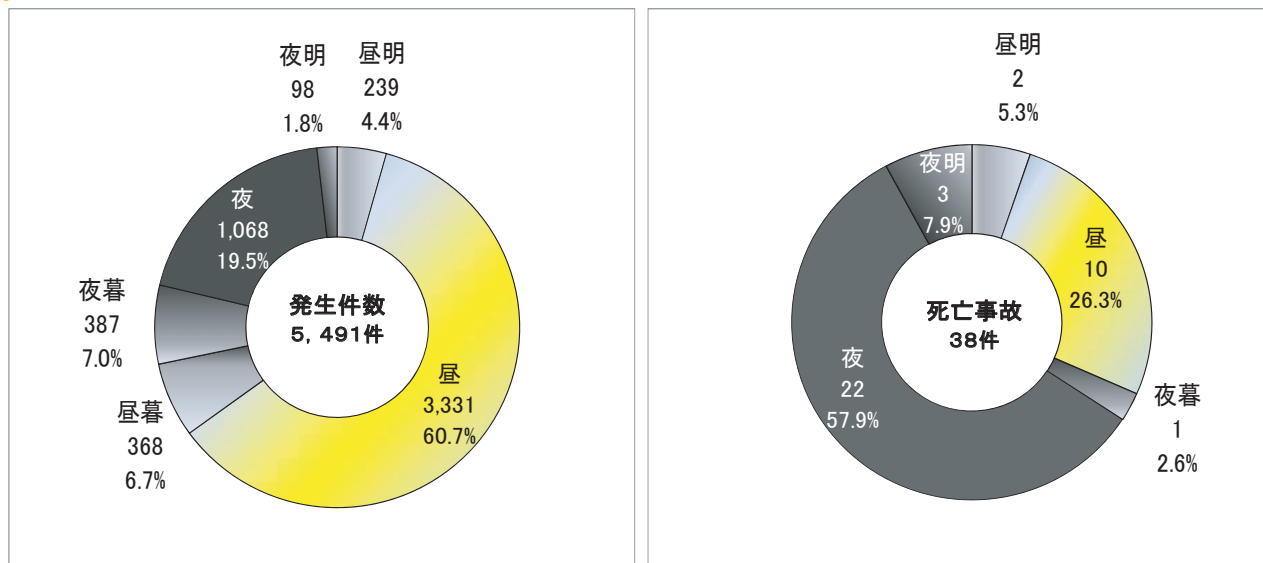
- 発生件数は、登校・出勤時間帯(8時~10時)と下校・帰宅時間帯(16時~20時)の発生が多くなっています。
- 死亡事故は0時~2時の時間帯に最も多く発生しています。

## 15 曜日別発生状況

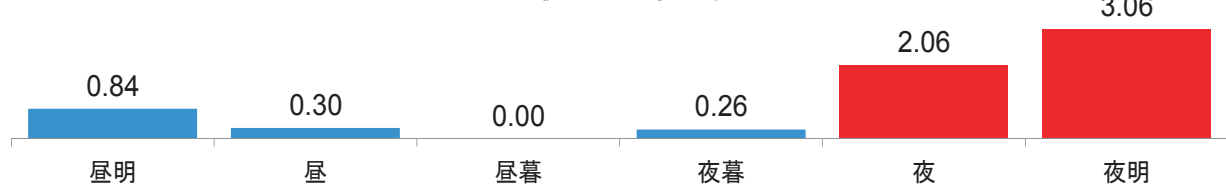


- 発生件数は、金曜日(868件)が最も多く、日曜日(607件)が最も少なくなっています。
- 死亡事故は、火曜日及び土曜日(7件)が最も多く、日曜日(3件)が最も少なくなっています。

## 16 昼夜別発生状況

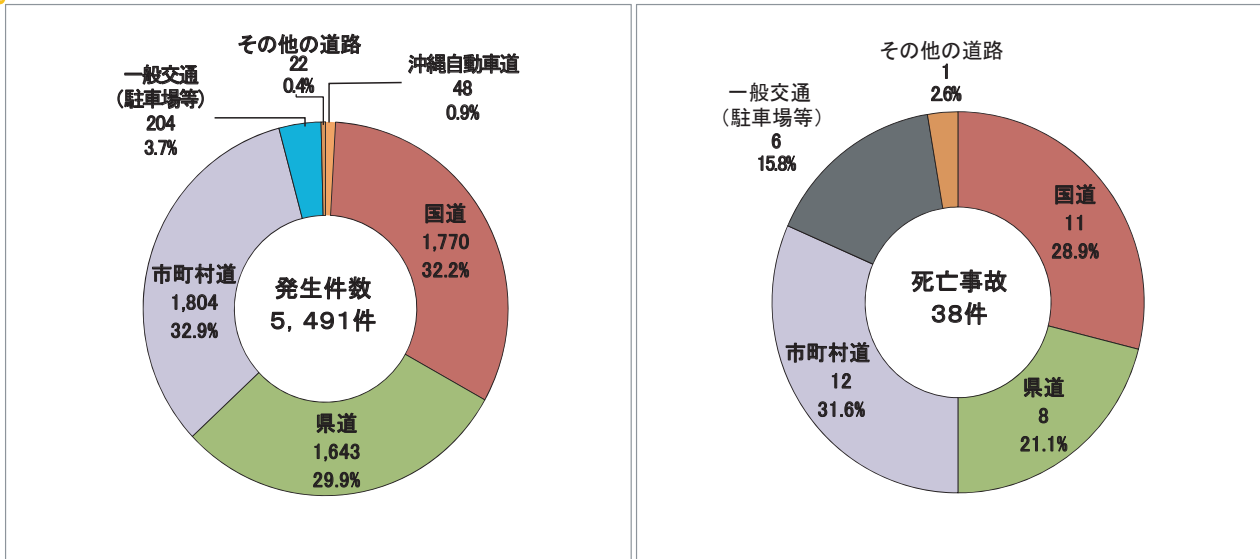


### 昼夜別死亡事故率



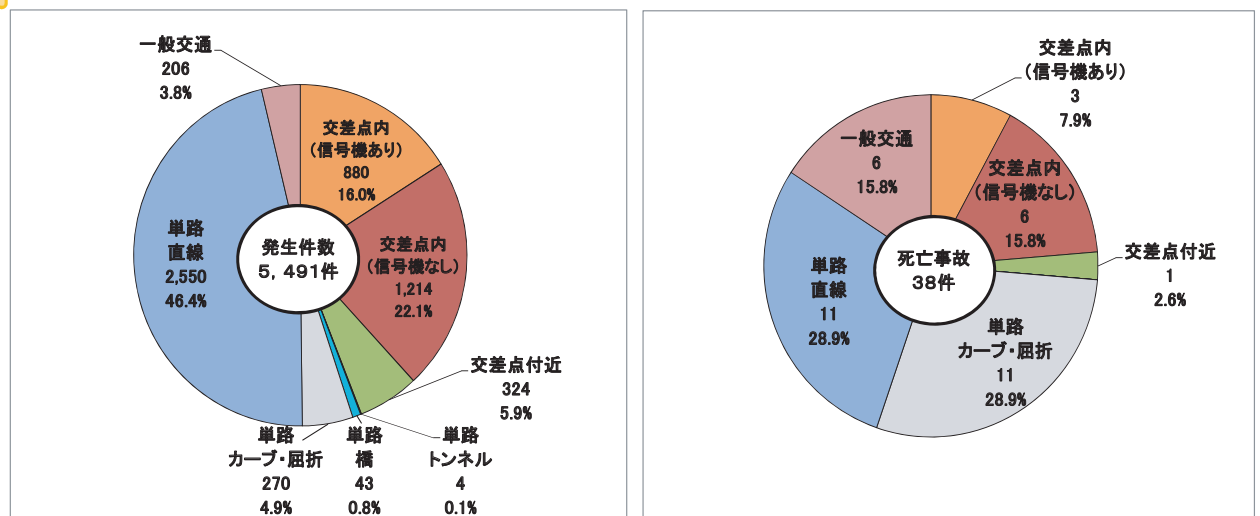
- 発生件数は、昼(3,331件)が最も多く、薄暮時間帯(昼明、昼暮)を含む昼間の事故は、71.7%を占めています。
- 死亡事故は、夜(22件)が最も多く、薄暮時間帯(夜暮、夜明)を含む夜間の死亡事故は、68.4%を占めています。
- 死亡事故率は、夜明(3.06%)が最も高くなっています。

## 17 路線別発生状況

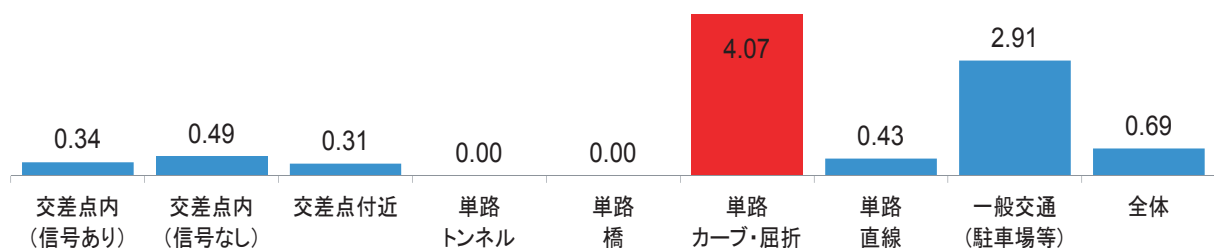


- 発生件数は、市町村道(1,804件)が最も多く、次いで国道(1,770件)となっています。
- 死亡事故についても、市町村道(12件)が最も多く、次いで国道(11件)となっています。

## 18 道路形状別発生状況



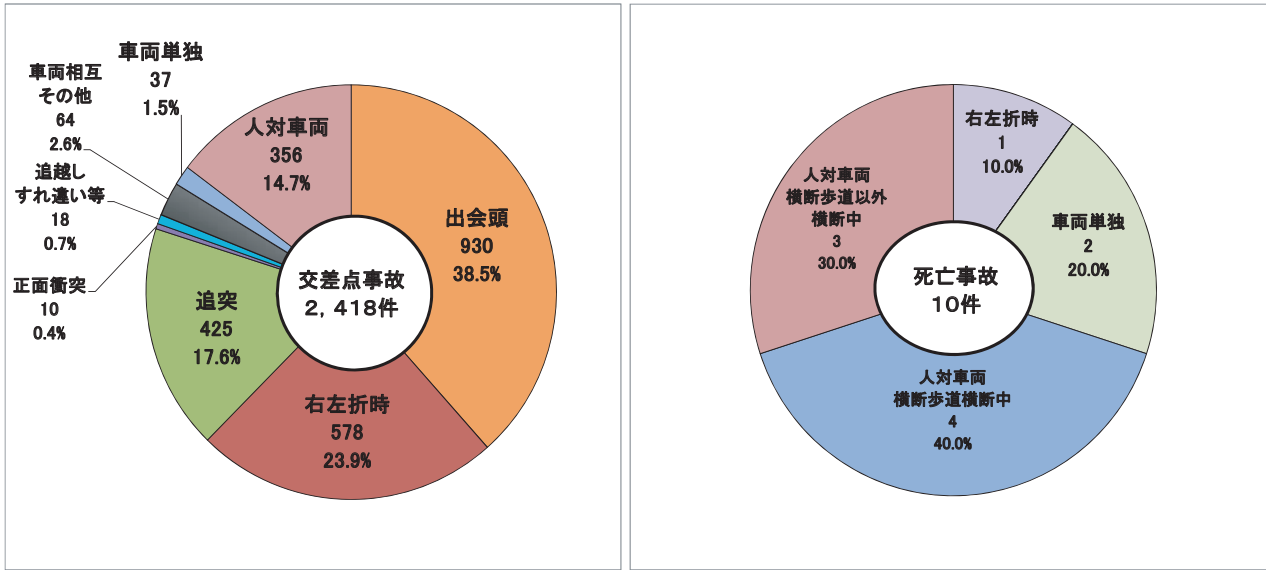
### 道路形状別死亡率



- 発生件数は、単路直線(2,550件)が最も多く、次いで信号機のない交差点内(1,214件)、信号機のある交差点内(880件)となっています。
- 死亡事故は、単路の直線及びカーブ・屈折(11件)が最も多く、合わせて全体の57.9%を占めています。
- 死亡事故率は、単路のカーブ・屈折(4.07%)が最も高くなっています。

## 19 交差点事故発生状況

交差点(付近を含む)事故の事故類型別発生状況



- 交差点事故(交差点付近を含む)は、出会い頭(930件)が最も多く、次いで右左折時(578件)、追突(425件)の順となっており、これらで約8割(79.9%)を占めています。
- 死亡事故は、人対車両横断中(7件)の事故が多くなっています。

## 交差点事故の発生件数が多い市町村

市町村名	発生件数	事故類型の内訳										
		交差点事故	構成率	出会い頭	右左折時	追突	正面衝突	追越しすれ違い時	車両相互その他	車両単独	人対車両	
1 那覇市	1,573	718	45.6	255	193	84	2	10	26	8	140	
2 沖縄市	547	228	41.7	105	55	29	2	1	5	4	27	
3 宜野湾市	388	194	50.0	44	49	58	1	1	5	3	33	
4 浦添市	497	185	37.2	71	53	20			7	3	31	
5 うるま市	374	139	37.2	74	19	18			3	1	24	
6 糸満市	180	108	60.0	49	21	20	1	1	4	3	9	
7 南風原町	188	104	55.3	29	19	38			2	1	15	
8 豊見城市	186	76	40.9	31	19	13			1	1	11	
9 北谷町	168	71	42.3	25	27	12			2		5	
10 名護市	209	70	33.5	27	21	7			1	2	12	

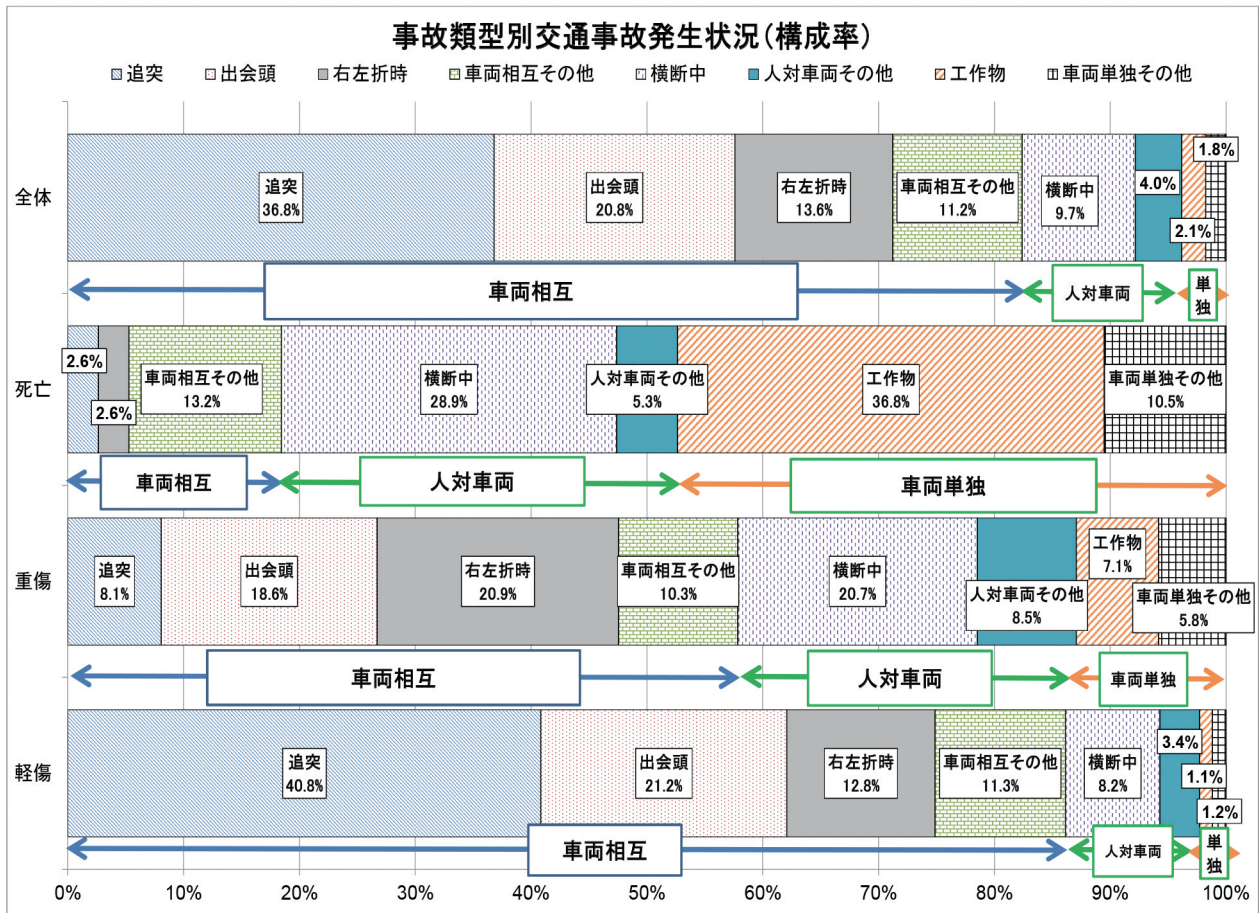
## 20 事故多発交差点

### 国道・県道の事故多発交差点

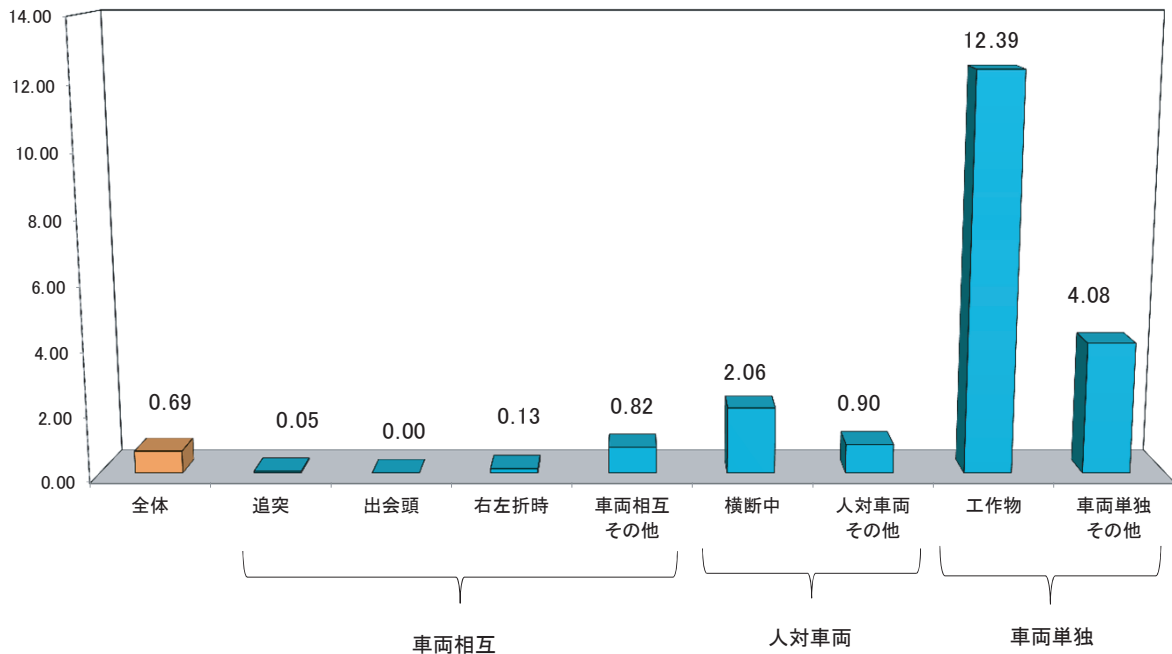
	交差点名	市町村名	路線名	発生件数
1	上之屋交差点	那覇市	国道58号	10
1	古島インター	那覇市	県道82号線	10
3	安謝交差点	那覇市	国道58号	8
4	旧伊佐交差点	宜野湾市	国道59号	6
4	北谷交差点	北谷町	国道58号	6

- 国道・県道の交差点では、上之屋交差点(国道58号)と古島インター(県道82号線)がそれぞれ11件で最も多く、次いで安謝交差点(国道58号)8件の順となっています。

## 21 事故類型別発生状況



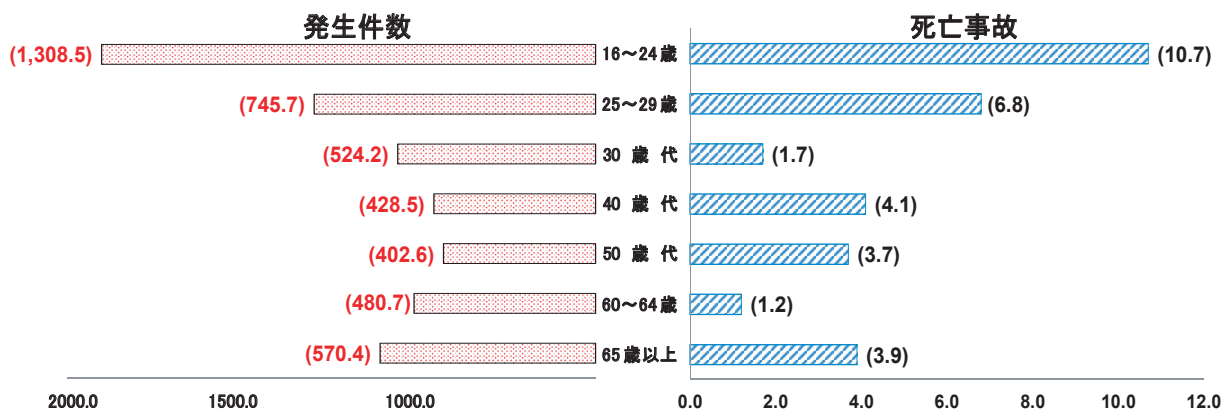
### 事故類型別死亡事故率



- 事故類型別の交通事故発生状況は、追突事故、出会い頭事故、右左折時が多く、全体の約7割（71.2%）を占めています。
- 死亡事故は、車両単独事故が47.4%、人対車両が34.2%、車両相互が18.4%となっています。
- 交通事故に占める死亡事故率は、車両単独の工作物衝突事故が12.39%と最も高く、全体（0.69%）の約18倍となっています。

## 22 年齢層別発生状況

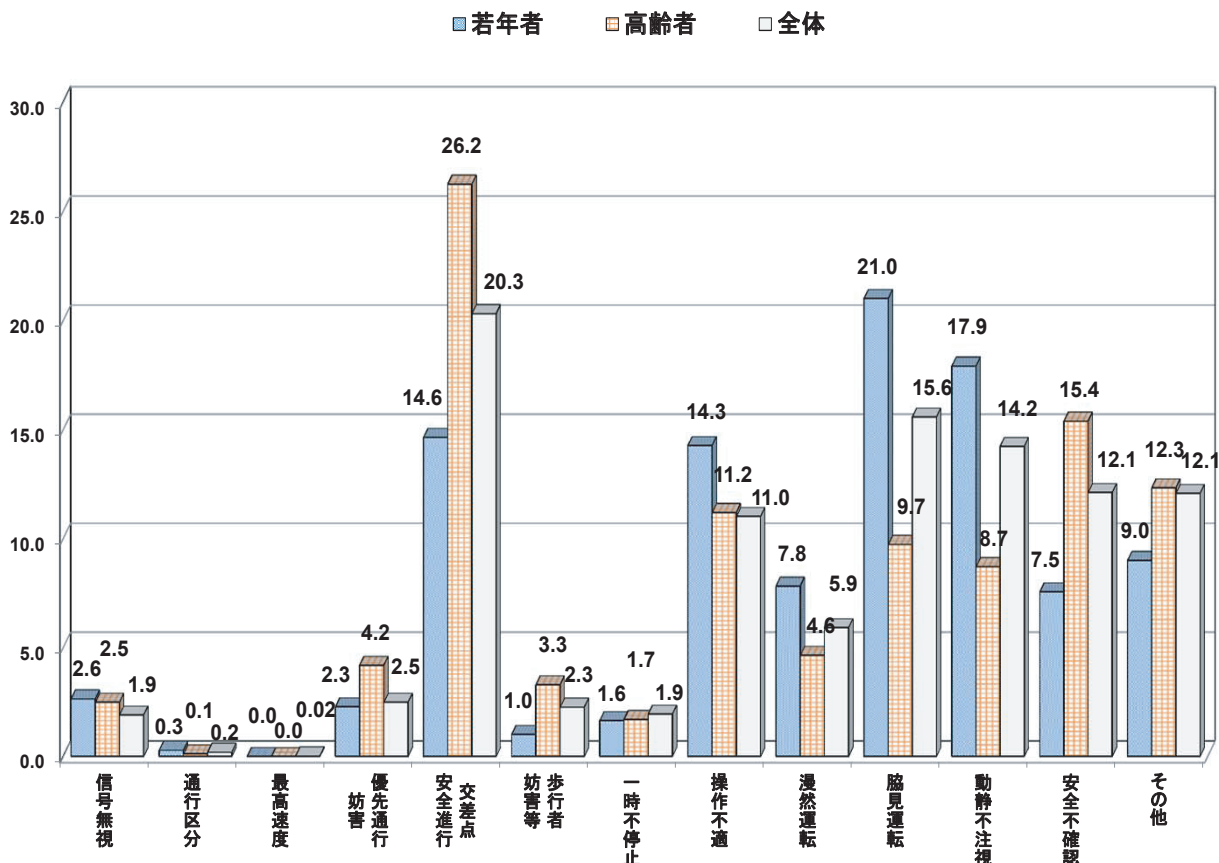
原付以上運転者(第1当事者)の年齢層別運転免許保有者10万人当たり交通事故件数



- 発生件数は、若年者(16~24歳)(1,308.5件)が最も多く、次いで25~29歳(745.7件)となっています。
- 死亡事故は、若年者(10.7件)が最も多く、次いで25~29歳(6.8件)となっています。
- ※ 運転免許保有者10万人当たりでは、発生件数、死亡事故いずれも若年者の運転による事故が多くなっています。

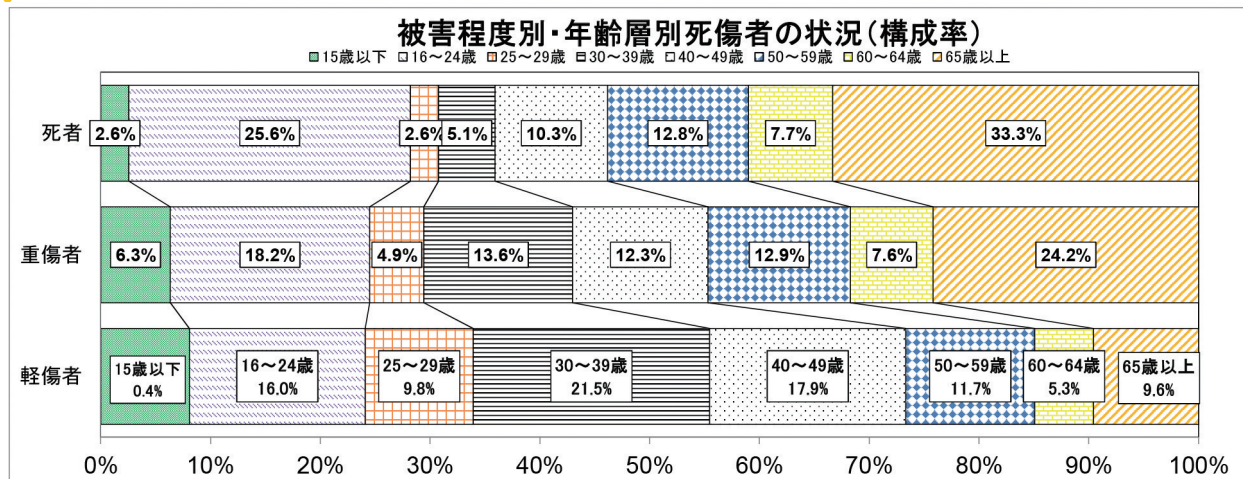
## 23 法令違反別・年齢層別発生状況

原付以上運転者(第1当事者)の法令違反別・年齢層別交通事故の構成率



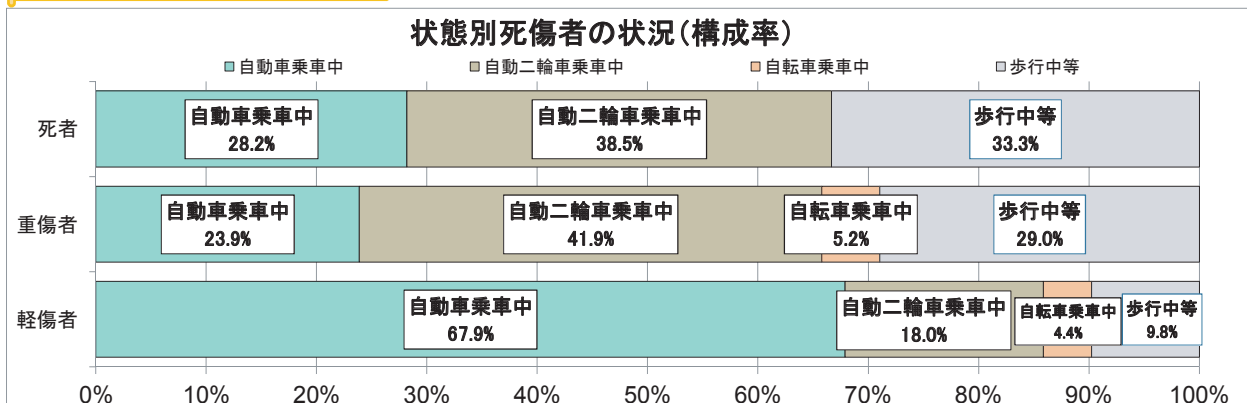
- 交通事故全体の法令違反は、交差点安全進行義務違反(20.3%)の割合が最も高く、次いで脇見運転(15.6%)の割合が高くなっています。
- 若年者(16~24歳)は、脇見運転(21.0%)、動静不注視(17.9%)の割合が高くなっています。
- 高齢者は、交差点安全進行義務違反(26.2%)、安全不確認(15.4%)の割合が高くなっています。

## 24 年齢層別死傷者の状況



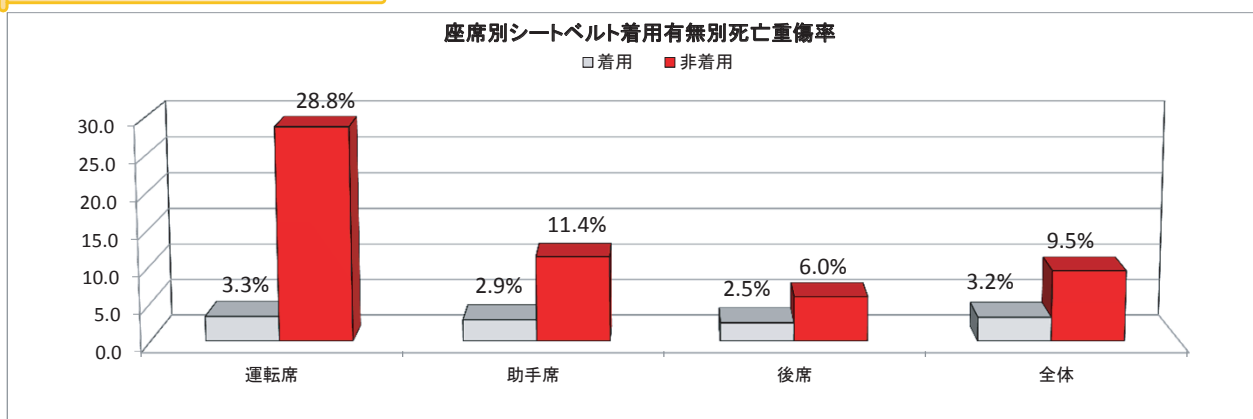
- 被害程度別の構成率が最も高い年齢層は、死者及び重傷者は、高齢者（65歳以上）（死者33.3%・重傷者24.2%）で、軽傷者は30~39歳（21.5%）となっています。
- 被害程度が重くなるにつれ、高齢者の構成率が高くなっています。

## 25 状態別死傷者の状況



- 死傷者の状態別状況は、死者及び重傷者は自動二輪車乗車中（死者38.5%・重傷者41.9%）の割合が最も高く、軽傷者は自動車乗車中（67.9%）が高くなっています。

## 26 シートベルト着用状況



- シートベルト（チャイルドシートを含む。）着用有無別死亡重傷率は、着用者3.2%に対して、非着用の死亡重傷率が約3倍の9.5%となっています。
- 座席位置別の死亡重傷事故率は、運転席の非着用が28.8%と高く、着用者の約8.7倍となっています。